



# 日本銀行のレポートから

## ～「地域経済報告」(さくらレポート)を読む前に～

日本銀行では、四半期ごとに「地域経済報告」(さくらレポート)を公表しています。読者の皆さんが次ページ以降に掲載した本文をお読みになる前に、本稿では、日本銀行が地域からみた経済情勢をどのように説明しているかについて、さくらレポートとの関係を中心に簡単に説明します。

### 「さくらレポート」とは

日本銀行では、年四回(一月、四月、七月、十月)、全国三十三支店の支店長などが本店に集まり、総裁以下全役員と「支店長会議」を開きます。支店長会議では、全国の支店長などが、管内の経済指標の分析や企業等へのヒアリング調査を通じて収集した情報をもとに、各地域の経済金融動向について報告します。こうした分析・情報に基づく各支店などからの報告を支店長会議にあわせて集約したものが「さくらレポート」(地域経済報告)です。

### 「さくらレポート」 発刊の狙い

日本銀行では、「さくらレポート」発刊以前、各地域の経済金融の動きを「全国一」支店金融経済概況(以下、「概況」として公表してきました。しかしながら、経済の構造変化が進むなかで経済・物価情勢を的確に把握していくに

は、地域経済の動向についてもよりきめ細かく把握することが必要、と認識されるようになりまし  
た。「さくらレポート」は、こうした観点から、「概況」の内容を拡充して、二〇〇五年四月に刊行を開始したものです。なお、本レポートの表紙の色は、「日本らしく和みやすい」とされる「さくら色」となっています。本レポートの正式名称は「地域経済報告」ですが、この表紙の色を踏まえて、「さくらレポート」と呼ばれています。なお、米国の中央銀行(FRB)が発行している、地区連銀経済報告についても、その表紙の色にちなんで、「ページジュブック」と呼称されています。

### 「さくらレポート」 の構成

「さくらレポート」では、各支店などから寄せられた報告を、①景気情勢にかかわる部分(「地域からみた景気情勢」と、②その時々の経済金融情勢におけるタイ

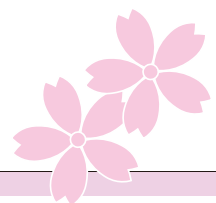
ムリーなトピック(「地域の視点」)とに整理して掲載しています。

このうち、「地域からみた景気情勢」では、全国を九地域に分け、各地域の取りまとめ店からの景気情勢に関する報告を集約しています。具体的には、冒頭で、全国九地域の足もとの景気動向を総括するとともに、前回報告からの変化、修正状況を一覧表として載せています。その後に、個人消費、設備投資、生産、雇用・所得環境といった項目について、各地域の現状評価、前回報告からの修正状況などを詳しく説明しています。

「地域の視点」では、その時々  
の経済金融情勢に応じて選んだト  
ピックについて、本支店が調査・  
分析した成果をまとめています。  
具体的には、景気動向を占つ上で、  
とくに注目すべき事項などを取り  
あげています。最近の例としては、  
「中小企業の経営の現状および当  
面の見通し」(二〇〇九年一月)  
や「最近の個人消費動向と消費関  
連企業の対応」(二〇〇八年一〇  
月)があげられます。

# 「地域経済報告」(さくらレポート)

— 二〇〇九年一月 — 「地域からみた景気情勢」



各地域の取りまとめ店の報告によると、足もとの景気は、悪化している。

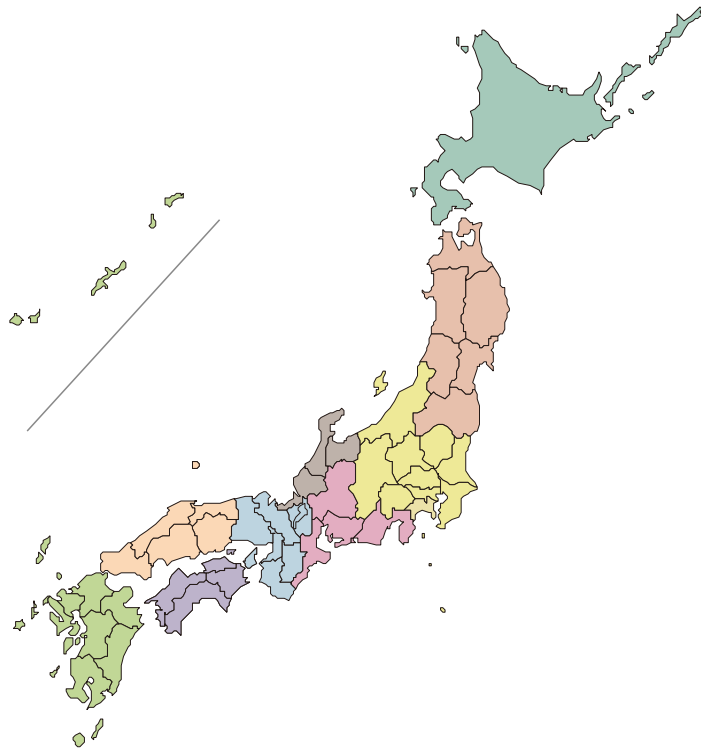
すなわち、輸出は、海外経済の一段の減速や為替円高を背景に、大幅に減少している。企業収益は減少を続けており、企業の業況感も悪化している。そうしたもとの、設備投資は、一部地域では底堅く推移しているが、足もと、全体として減少している。個人消費については、雇用・所得環境が厳しさを増すなか、弱まっている。また、住宅投資は、概ね横ばい圏内で推移している。こうしたもとの、生産は、大幅に減少している。

こうしたなか、総括判断は、東海で変化のスピードが急(「急速に下降」としており、その他の地域(「悪化」、「厳しさが増している」、「弱い動きが広がっている」との間で地域

差がうかがわれる。

なお、昨年一〇月の支店長会議時と比べると、総括判断は、雇用・所

得環境が厳しさを増すなか、個人消費が弱まっている



	【08/10月判断】 前回対比： 「上方修正」0地域 「現状維持」0地域 「下方修正」9地域	判断の 変化	【09/1月判断】 前回対比： 「上方修正」0地域 「現状維持」0地域 「下方修正」9地域
北海道	やや厳しい状況にある	▲	厳しさが増している
東北	弱めの動きが広がっている	▲	悪化している
北陸	停滞している	▲	悪化している
関東甲信越	停滞している	▲	悪化している
東海	なお高水準を保ちつつも、 下降局面にある	▲	急速に下降している
近畿	停滞している	▲	悪化している
中国	一部に弱い動きがみられるが、 全体としては概ね横ばいで推移している	▲	悪化している
四国	やや弱めの動きとなっている	▲	弱い動きが広がっている
九州・沖縄	停滞している	▲	悪化している

ほか、生産も大幅に減少していること等を反映して、前回に引き続き全九地域で下方修正した。

**個人消費**は、北海道で「厳しい状況」と判断しているほか、その他の地域でも「弱めの動きが広がっている」ないしは「弱まってきている」などと判断している。

個別の動きをみると、大型小売店の売上は、食料品が底堅く推移しているものの、衣料品や雑貨、身の回り品を中心に弱めの動きが続いているほか、家電販売も、ここにかけて弱含みの動きがみられている。また、乗用車販売も、大幅に落ち込んでいるほか、旅行取扱高も、内外とも弱めの動きとなっている。

前回報告との比較では、北海道、四国、九州・沖縄がやや下方修正、その他の六地域が下方修正した。

前回対比 「上方修正」○地域  
「現状維持」○地域  
「下方修正」九地域

**設備投資**は、企業収益の減少が続いており、企業の業況感も悪化していること等を背景に、ほとんどの地域で「減少している」ないしは「減少幅が拡大」、「下方修正の動きが広がりつつある」といった判断となっている。

業種別にみると、非製造業で、電気・ガスのインフラ関連投資等から前年度を上回る計画とする地域（中国、九州・沖縄）が一部にみられるが、製造業で、輸送機械を中心に能力増強投資を抑制する動きが広がっており、全体として減少している。

前回報告との比較では、四国が前回並の判断を維持した以外は、北海道、九州・沖縄がやや下方修正、その他の六地域が下方修正した。

前回対比 「上方修正」○地域  
「現状維持」一地域  
「下方修正」八地域

生産は、濃淡はあるものの、全地域で減少している（大幅に減少し

ている」等……関東甲信越・東海・近畿、「減少している」等……その他の地域）。

業種別の動きをみると、地域ごとのばらつきはあるものの、加工業種（電子部品・デバイス、輸送機械、一般機械等）、素材業種（鉄鋼、紙・パルプ等）ともに、幅広い業種で減少している。

前回報告との比較では、全九地域が下方修正した（前回の前々回対比……「現状維持」一地域、「下方修正」八地域）。

前回対比 「上方修正」○地域  
「現状維持」○地域  
「下方修正」九地域

**雇用・所得環境**をみると、雇用情勢については、製造業の生産が全地域で減少していること等を反映して、全地域で悪化している。

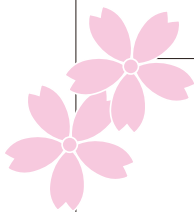
雇用者所得も、所定外給与や冬季賞与の減少などから、全地域で弱含んできている。

前回報告との比較では、雇用情勢、雇用者所得とも、北海道、近畿、四国、九州・沖縄がやや下方修正、その他の五地域が下方修正した（前回の前々回対比……〈雇用情勢〉「現状維持」一地域、「下方修正」八地域、〈雇用者所得〉「現状維持」四地域、「下方修正」五地域）。

前回対比（雇用情勢）  
「上方修正」○地域  
「現状維持」○地域  
「下方修正」九地域  
前回対比（雇用者所得）  
「上方修正」○地域  
「現状維持」○地域  
「下方修正」九地域

\*全文は日本銀行ホームページに掲載されています。

[http://www.boj.or.jp/type/ronbun/chiki\\_rep/index.htm](http://www.boj.or.jp/type/ronbun/chiki_rep/index.htm)



〈需要項目等〉

	個人消費	設備投資	生産	雇用・所得
北海道	厳しい状況にある	底堅く推移している	減少している	雇用情勢は、やや厳しい状況にある。雇用者所得は、企業収益の一段の悪化を背景に、冬季賞与が減少するなど、全体としては厳しい状況が続いている
東北	弱めの動きが広がっている	製造業を中心に減少している	広範な業種において減産の動きがみられる	雇用情勢をみると、弱めの動きが広がりがつつある。雇用者所得も減少している
北陸	さらに弱い動きとなっている	減少幅が拡大している	減少している	雇用情勢をみると、一段と厳しさを増している。雇用者所得は、所定外給与の減少などから前年を下回っている
関東甲信越	弱まってきている	減少している	大幅に減少している	雇用情勢は、悪化している。雇用者所得は、足もと横ばい圏内ながら、先行きは企業収益や生産の減少等を映じて弱含んでいくとみられる
東海	弱めの動きとなっている	高水準ながら減少している	大きく減少しているとみられる	雇用情勢をみると、所定外労働時間が減少しているほか、有効求人倍率も低下が続いている。雇用者所得は、伸び悩んでいる
近畿	弱い動きとなっている	高水準ながら減少に転じている	大幅に減少している	雇用情勢をみると、有効求人倍率が低下する中で、雇用者数は伸び悩んでいる。雇用者所得は、弱含みとなっている
中国	全体として弱めの動きが強まっている	ほぼ前年度並みの計画となっているものの、下方修正の動きが広がりがつつある	減少しており、足もと減産の動きが一段と強まっている	雇用情勢は、厳しさを増しており、有効求人倍率は、このところ大幅に低下している。雇用者所得は、弱含みとなっている
四国	弱めの動きが広がっている	減少している	弱い動きが広がっている	雇用情勢は、やや悪化している。雇用者所得は、弱含んでいる
九州・沖縄	弱まっている	高水準ながら減勢に転じている	減少している	雇用情勢は、弱めの動きとなっている。雇用者所得は、弱めの動きとなっている